

【試合結果】

男子 決勝トーナメント		準決勝																
日時	2018年12月24 (月)		10:20 ~															
会場	帯広総合体育館Aコート																	
結果	美幌北 北見 66	{ <table border="0"> <tr><td>17</td><td>—</td><td>16</td></tr> <tr><td>12</td><td>—</td><td>12</td></tr> <tr><td>16</td><td>—</td><td>9</td></tr> <tr><td>21</td><td>—</td><td>17</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table> }	17	—	16	12	—	12	16	—	9	21	—	17		OT		帯広第一 帯広 54
17	—	16																
12	—	12																
16	—	9																
21	—	17																
	OT																	
審判	主審 堀田 幸一		副審 伊藤 浩司															

第33回北海道中学校バスケットボール新人大会



【ボックススコア】

美幌北		北見						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	水島 直哉	×	14		7		2	4
5	田岡 周多朗	×	19	1	8		10	
6	石澤 碧	×	0				1	1
7	長縄 祐輝	/	0					
8	宮村 悠大	×	15	3	3		3	3
9	尾本 琉伊	/	0					
10	佐藤 翔	DNP	0					
11	伊藤 志竜宇	DNP	0					
12	田岡 雅埜	×	12		6		8	3
13	大浦 武蔵	/	2		1			2
14	坂口 佑斗	/	4		2		9	
15	浦野 朔空	DNP	0					
16	山田 悠司	/	0					1
17	大野 力矢	DNP	0					
18	上野 真二郎	DNP	0					
HC	福岡 信也							
合計			66	4	27	0	33	14

帯広第一		帯広						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	山田 龍輝	×	22	5	3	1	4	3
5	寛 優真	×	8	2	1		4	
6	上野 希創	×	7		3	1	12	
7	本間 大雅	×	8		3	2	5	3
8	岩崎 宋太郎	×	9	2		3	4	1
9	相澤 心	DNP	0					
10	加藤 佑騎	/	0					
11	邊見 海稀	DNP	0					
12	山田 陽夢	DNP	0					
13	吉田 龍飛	DNP	0					
14	根本 輝來	DNP	0					
15	山口 和真	DNP	0					
16	的場 亮太	DNP	0					
17	新井 蒼士	DNP	0					
18	0							
HC	安達 一男							
合計			54	9	10	7	29	7

出場 ×:スターター /:途中出場 DNP:出場なし
 得点 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー

【戦評】

1Q美幌北#4#5#6#8#12、帯広第一#4#5#6#7#8、互いにハーフマンツーマンでスタート。開始早々、美幌北#5のミドルシュートが決まるが、帯広第一は素早い速攻から流れを譲らない。美幌北#5の3Pからリードを奪うが、帯広第一#8と#5の3Pで逆転に成功。残り1分でタイムアウトを取った美幌北は終了間際に#4の連続得点で逆転し、1Qを終える。
 2Q流れに乗った美幌北は、立て続けにブロックショットが成功し帯広第一にシュートを打たせない。対する帯広第一も粘り強いディフェンスから一進一退の攻防が続く。帯広第一は#4の1on1から得点を重ねるが、美幌北の#4、#5がインサイドを崩し1点リードで前半を終える。
 3Q開始1分、帯広第一の#7のミドルシュートが決まり逆転に成功、さらに#4が3Pを決め先手を取る。しかし、美幌北#12のスティールから速攻を決め同点に追いつき、#8の3Pで流れを掴む。5点差になった帯広第一は残り2分半でタイムアウトを取るが、流れは変わらず美幌北#8の3Pでさらにリードを広げ、8点差で3Qを終える。
 4Q先手を取ったのは美幌北。#5のリバウンドショットからリードを広げ、#8のスリーポイント、#5の速攻と一気に畳みかけ残り5分で16点差まで引き離す。対する帯広第一はオールコートマンツーマンで応戦するが、落ち着いて対応した美幌北は20点差まで引き離し、残り3分半で帯広第一はタイムアウト。攻撃の手を緩めない美幌北は速攻から連続得点を重ねる。最後まで諦めない帯広第一は#5、#8、#4の連続3Pで点差を縮めるが及ばず、美幌北が決勝への切符を手にした。